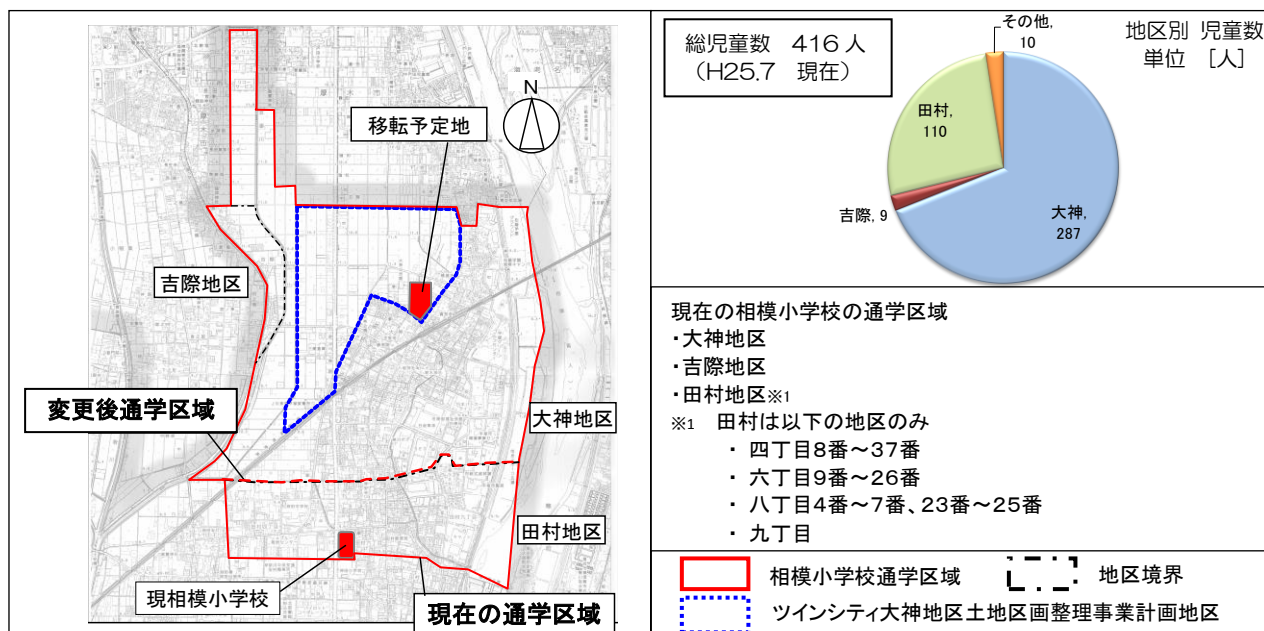


# 相模小学校移転基本計画 資料編

## 通学区域の変更とツインシティ大神地区人口増に伴う児童数の変化

現在の相模小学校通学区域は、大神、吉際、田村の一部の地区ですが、移転後は、田村地区は全て神田小学校通学区域に編入すると想定します。想定による移転後の児童数は、総児童数416人（平成25年7月時点）のうち、田村地区の110人を除くと、約300人（1学年約50人）となります。

ツインシティ大神地区土地区画整理事業計画地区の児童の増加数は、居住人口3,300人に対し、平成25年1月1日現在の平塚市における小学校の児童年齢（6～11歳）の割合5.3%を適用すると、約170人と予測されます。



## 主な必要諸室

①普通教室部門	普通教室	8m×8mの教室を各学年2教室ずつ確保。
	多目的教室	学びの意欲を高め自己を向上させるため、多目的教室を設置。(2学年で1教室の大きさを確保。)
	オープンスペース	現相模小学校の「虹色ひろば」のような自由に使えるスペース。
	更衣室	低・中・高学年にそれぞれ配置、またはまとめて大きく取ることも検討。
②特別支援学級教室部門	教室・グループ学習・プレイスペース	器材を設置するスペースや多目的な利用、洗面等の教室内設置を想定するとともに、グループ学習やプレイスペースを併設。
	通級指導教室	普通学級に在籍する発達障害のある児童に対し、障害の状態に応じた特別の指導（「自立活動」及び「各教科の補充指導」）を行うスペースを確保。
③特別教室部門	交流センター	地域住民との体験学習の場としても利用できる。 /ランチルーム(多目的ホール)、家庭科室、生活科室
	メディアセンター	調べ活動、発表の場等、スペースを多目的に利用。 /図書室、コンピューター室、理科室
	創作センター	児童が自ら創作、練習して技能を高められる場。 /音楽室、図工室
④体育館部門	体育館	バスケットコート1面(小コート2面)とステージ、用具庫・トイレを確保。災害時の避難所、団体等への貸出しに対応できるよう配慮。

⑤管理部門	校務関連諸室	職員室は、児童が身近に感じて出入りしやすいつくりとし、学校の様子に目が行き届くように配慮。
	保健室・相談室	保健室は個別スペースが確保されていると共に、相談室と合わせた広めの使い方ができることも検討。相談室は個別相談や心のケアができるよう配慮。
	P T A室	体験学習等をサポートする保護者や、地域の人々との打合等のスペース。
⑥地域連携部門	地域連携室	放課後児童クラブや地域の住民との体験学習等を通じた交流、活動のためのスペースを確保。
	用具庫	保護者や地域の人々の利用も考慮した配置。
⑦その他	廊下・階段・E V等	校舎計画をコンパクトとし、必要諸室に合わせた面積を確保。
⑧プール	短い利用期間やランニングコストを考慮し、学区内にある大神公園プール等の施設利用を検討。	

## 機能構成プログラム

必要諸室をゾーニング（グループ分け）して視覚的に示します。

